

1 選考試験の対象となる志願区分、採用見込数、試験期日等

(1) 志願区分・教科等

志願区分	教科等
小学校等教員	—
中学校等教員	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
高等学校等教員	国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、音楽、美術工芸、書道、英語、農業、電気、機械、建築、デザイン、情報技術、土木、工業化学系、福祉、商業、看護、家庭、情報
特別支援学校教員	特別支援教育、自立活動
養護教員	—
栄養教員	—

※ 「小学校等教員」、「中学校等教員」、「高等学校等教員」の志願区分については、特別支援学校に配置する場合がある。

※ 「栄養教員」の志願区分については、小・中学校に配置する。

(2) 採用見込数

	令和6年度実施	(令和5年度実施)
ア 小学校等教員	700名	(700名)
イ 中学校等教員	450名	(450名)
ウ 高等学校等教員	300名	(300名)
エ 特別支援学校教員	200名	(200名)
オ 養護教員	35名	(45名)
カ 栄養教員	5名	(10名)
合計	1,690名	(1,705名)

(3) 試験期日・試験会場

各志願区分に応じ、それぞれ次のとおりとする。

ア 小学校等教員、中学校等教員、養護教員、栄養教員

試験区分	試験期日	会場
第1次試験	令和6年7月7日(日)	県内大学、県立学校、市立学校、 県立総合教育センター
第2次試験	令和6年8月10日(土) 令和6年8月18日(日) 令和6年9月1日(日)	県内大学、県立学校、 県立総合教育センター

イ 高等学校等教員、特別支援学校教員

試験区分	試験期日	会場
第1次試験	令和6年7月7日(日)	県立学校
第2次試験	令和6年8月4日(日) 令和6年8月18日(日) 令和6年8月19日(月)～22日(木) のうち指定する1日	県内大学、県立学校

(4) 選考区分・志願区分

次の表に掲げる一般選考及び特別選考を実施する。

選考区分		志願区分						
		小学校 等教員	中学校 等教員	高等学校 等教員	特別支援 学校教員	養護 教員	栄養 教員	
一般選考		○	○	○	○	○	○	
特別 選 考	障害者特別選考		○	○	○	○	○	○
	教職経験者 特別選考	本採用教員 経験者特別選考	○	○	○	○	○	○
		臨時的任用教員 経験者特別選考	○	○	○	○	○	○
	看護師等経験者特別選考				○ (福祉) (看護)	○ (自立活動)		
	セカンドキャリア特別選考		○	○	○	○	○	○
	大学推薦特別選考		○	○ (美術) (技術) (家庭)	○ (数学) (理科)	○ (特別支援 教育)		
			(教職大学院)	○	○	○	○	○
	彩の国かがやき教師塾特別選考		○	○				

(5) 第1次試験及び第2次試験の内容

	選考区分	小学校等教員 中学校等教員 養護教員 栄養教員	高等学校等教員 特別支援学校教員
第1次試験	一般選考	<ul style="list-style-type: none"> 筆答試験 (一般教養・教職科目) 筆答試験 (専門) 	<ul style="list-style-type: none"> 筆答試験 (一般教養・教職科目) 筆答試験 (専門)
	臨時的任用教員経験者特別選考A選考	<ul style="list-style-type: none"> 筆答試験 (専門) 	<ul style="list-style-type: none"> 筆答試験 (専門)
	セカンドキャリア特別選考	<ul style="list-style-type: none"> 集団面接 	<ul style="list-style-type: none"> 集団面接
	障害者特別選考	第1次試験免除	
	本採用教員経験者特別選考		
	臨時的任用教員経験者特別選考B選考		
	看護師等経験者特別選考		
	大学推薦特別選考		
彩の国かがやき教師塾特別選考			

	選考区分	小学校等教員 中学校等教員 養護教員 栄養教員	高等学校等教員 特別支援学校教員
第2次試験	全選考区分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 論文試験 ・ 個人面接 ・ 集団討論 ・ 適性検査 ・ 実技試験* * 志願区分「中学校等教員」のうち理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 論文試験 ・ 個人面接 ・ 集団討論 ・ 集団面接 ・ 適性検査 ・ 実技試験* * 志願区分「高等学校等教員」のうち保健体育、音楽、美術工芸、書道、英語のみ

(6) 特定の資格・実績等による加点

次の表に掲げる各志願区分に応じ、加点要件を満たした者は、それぞれ第1次試験の合計点に同表のとおり加点する。

種 別	志願区分 (教科)	加点要件	加点する 点数
国際貢献 活動	全区分	青年海外協力隊員又は日系社会青年ボランティアとして、出願時までに24か月以上の海外での国際貢献活動経験を有する者	10点
英語に 関する 資格・実 績	小	英語の中学校教諭普通免許状又は高等学校教諭普通免許状を有する者（取得見込みは不可）	10点
		英語指導助手として24か月以上の実務経験を有する者	10点
	小 中(英語) 高(英語)	・ 実用英語技能検定1級又は準1級合格者 ・ TOEIC Listening & Reading Test 785点以上取得者 ほか	10点
調理師に 関する 資格	高(家庭)	専門調理師又は調理師の資格を有する者	10点

種 別	志願区分 (教科)	加点要件	加点する点数
手話通訳士に関する資格	全区分	手話通訳士の資格を有している者	10点
情報処理技術に関する資格	高(情報、情報技術)を除く 全区分	基本情報技術者試験に合格した者	5点
	全区分	応用情報技術者試験に合格した者	10点
司書教諭に関する資格	小 中	司書教諭講習修了証書を有する者	5点

種 別	志願区分 (教科)	加点要件	加点す る点数
志 願 区 分・教科 (科目) 等以外の 教員免許 の所有	小 中	特別支援学校教諭普通免許状を有し（取得見込みは不可）、か つ、特別支援教育担当教員を希望する者	10点
	中	音楽、美術、技術、家庭のいずれかの中学校教諭普通免許状を 有する者（取得見込みは不可）	10点
	高（国語）	中国語の高等学校教諭普通免許状を有する者（取得見込みは不 可）	10点
	高（地理 歴史）	公民又は社会の高等学校教諭普通免許状を有する者（取得見込 みは不可）	10点
	高（公民）	地理歴史又は社会の高等学校教諭普通免許状を有する者（取得 見込みは不可）	10点
	高（英語）	ドイツ語、フランス語、中国語のいずれかの高等学校教諭普通 免許状を有する者（取得見込みは不可）	10点
	高	情報の高等学校教諭普通免許状を有する者（取得見込みは不 可）	10点

(7) その他

ア 試験要項の公開

令和6年3月中旬（予定）

イ 出願期間

令和6年4月3日（水）10時～5月9日（木）17時

※ 全ての志願区分において、インターネット出願のみとする。

ウ 結果の公表

(ア) 第1次試験

- ・ 令和6年7月26日（金）に第1次試験受験者全員に通知する。
- ・ あわせて、同日、埼玉県教育委員会ホームページ上に合格者の受験番号を掲載する。

(イ) 第2次試験

- ・ 令和6年9月下旬に第2次試験受験者全員に通知する。
- ・ あわせて、同日、埼玉県教育委員会ホームページ上に合格者の受験番号を掲載する。

2 主な変更点

(1) 大学3年生を対象とした試験の実施

ア 目的

- ・ 試験の一部を大学3年次に受験可能とすることで、4年次の負担を軽減し大学生が受験しやすい環境を整える。
- ・ 学生の受験機会を増やし、本県教員志願者の早期確保を図る。

イ 概要

全志願区分を対象に、大学3年次において第1次試験の「一般教養・教職科目」を実施し、一定以上の成績を収めた受験者を「選考通過者」とする。「選考通過者」に対して大学4年次に「専門分野」を実施し、合格者について第2次試験を実施する。

なお、「選考通過者」とならなかった者は、大学4年次に改めて第1次試験を受験できる。

(2) 加点要件等の追加

ア 高等学校等教員の「地理歴史」において、「公民」又は「社会」の高等学校教諭普通免許状を有する者を加点の対象とする（10点）。

イ 高等学校等教員の「公民」において、「地理歴史」又は「社会」の高等学校教諭普通免許状を有する者を加点の対象とする（10点）。